

令和2年度  
**印西市民アカデミーだより**  
 ぶらす  
 第26号

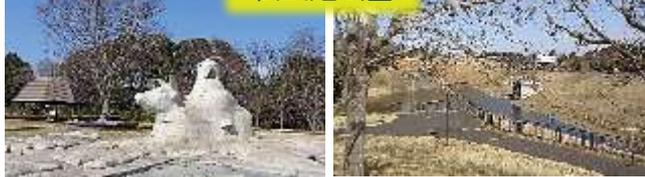
**印西の歴史散策10**

3月19日(金)、最後の散策は歴史ある萩原・松虫地区です。コースは、印旛支所→松虫姫公園→萩原鳥見神社→萩原公園→松虫寺・松虫姫神社→杉自塚→松虫陣屋跡→印旛支所(約7.5km・3時間)です。この地は、古くから松虫姫伝説が伝わる歴史あるところです。

**松虫姫伝説**

奈良時代、天平年間(729~749)、聖武天皇の第3皇女の松虫姫が不治の病を患い難儀していたところ、姫の夢枕に仏が現れ「東国の坂東の地、下総萩原の出戸に靈験あらたかな薬師仏を訪ね、祈願されよう」とのお告げがありました。早速、姫は、乳母の杉自や従者を従えて旅を続け、この地の薬師仏の祠に辿り着き、祠の側に草庵を結び朝夕一身に回復を祈りました。これを見た村人も手厚くお世話しました。そのお礼に機織や裁縫、養蚕の技術を伝えました。歳月が過ぎて松虫姫の一念が通じ、不治の病も全快し、都に戻ることになりましたが、年老いた乳母と姫を乗せてきた牛は、この地に残ることとなり、悲観した牛は近くの小池に身を投じ、後にこの池は「ウシモグリの池」といわれるようになりました。姫の全快を喜んだ帝は、僧の行基に命じて七仏薬師を刻して献じ、彼の地を「松虫」と、さらに一寺を建てて「松虫寺」と名づけました。その後、数奇な生涯を終えた姫は、遺言により分骨され境内に葬られ、「松虫御廟」として伝えられています。

**松虫姫公園**



松虫姫を乗せた牛のモニュメントがある松虫姫公園。現在、ウシムグリの池は遊水地となっていて周囲を散策できます。

**萩原鳥見神社**



当社の由緒書によれば「第五代孝昭天皇の御代大和国城上郡萩原村の鳥見山の神々の霊を当地に遷座した」と伝えられている。

**松虫寺**



摩尼珠山医王院松虫寺は、真言宗豊山派の寺院です。国重要文化財に指定されている通称「七仏薬師」が本尊です。

**松虫姫神社**



松虫寺の左側にある松虫姫神社。神紋は十六菊。右奥には、松虫御廟が建立されています。

**杉自塚&庚申塔**



松虫姫の乳母杉自の塚の周辺には、多くの庚申塔が並んでいるパワースポットとなっています。

**松虫陣屋跡**



戦国時代の陣屋跡で、全体では、約150m×約250mの規模です。